

看護連盟 いばらき

第 41 号

2018 年 1 月 19 日号

茨城県看護連盟
水戸市緑町 3-5-35
TEL 029(225)3992
発行者 会長 山本かほる
i-renmei@indigo.plala.or.jp

祝！当選 第48回衆議院議員選挙



あべ俊子議員 岡山3区(小選挙区)



木村やよい議員 京都3区

祝！当選 大井川和彦茨城県知事



祝

目次

会長あいさつ	2
看護職議員活動報告・選挙活動を終えて	3
茨城県知事選	4
茨城県看護連盟青年部委員会誕生・青年部委員会 委員紹介 ..	5
平成 29 年度 研修会報告・施設紹介	6
わたしたちの支部・癒しのコーナー・ただいま育メン中	7
連盟からのお知らせ・編集後記	8

平成29年度会員数
(H29.12月末日)

5,078 名

茨城県看護連盟会長あいさつ



さらなる組織力強化を目指して

茨城県看護連盟 会長 山本 かほる

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、茨城県知事選挙において連盟が推薦した「大井川和彦氏」が当選し、新知事に就任されました。衆議院選挙においては、「あべ俊子議員」(小選挙区5期目)、「木村やよい議員」(近畿比例2期目)が再選を果たし看護職の議席を堅持することができ、引き続き国政の場で更なる活躍を期待するものです。この二つの選挙を通して看護職の総力を社会に示すことができ、組織力の強化が着実に図られた結果だと考えております。2019年には参議院議員選挙が控えております。組織内代表として決定している「石田まさひろ議員」には何としても力を合わせ再度国会に送りださなければいけません。

そのため、会員の多数を占める若手会員のさらなる理解と協力が必要です。茨城県においては、昨年9月に青年部委員会を結成し、20名の若手委員が選出され活動を開始したところです。今年度は連盟活動の目的を達成するために研修会を中心に支部活動と並行して取組んでおります。

若手会員の育成に対し更なる強化を図ってまいりますので温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

日本看護連盟会長あいさつ



「力強い看護連盟」を目指して

日本看護連盟 会長 草間 朋子

新春のお慶び申し上げます。

会員のみなさまには、それぞれの抱負を胸に、新たな年を迎えられたことと思います。

看護連盟は、今年も、看護現場が抱える課題を看護政策として確実に実現し、会員のみなさまが「看護連盟があつてよかった」と組織の存在を実感できる組織作り、活動を、みなさまとともに目指していきたいと思ひます。

昨年の看護連盟の重点目標は、「組織力を強化する」ことでした。去る10月に行われました衆議院選は、連盟にとっても大変厳しい選挙でしたが、あべ俊子先生、木村やよい先生を再び国政の場に送ることができ、看護連盟の底力を社会にアピールすることができましたことは看護連盟にとって大きな収穫であったと感謝申し上げます。

今回再選を果たされたお二人の衆議院議員の先生と、参議院議員のたかがい恵美子、石田まさひろ先生の4人の国会議員の先生の協力を得ながら、私たち看護職の手、力でしっかり看護政策を実現してまいりましょう。

看護連盟の活動の成果は、会員のみなさま一人ひとりの努力の積み重ねの結果です。

今年も、くれぐれもよろしくお願いいたします。

茨城県看護協会会長あいさつ



いのち、暮らし、尊厳をまもり支える看護を目指して

公益社団法人茨城県看護協会 会長 相川 三保子

新年明けましておめでとうございます。

日頃より本協会の運営にあたり多くのご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

いよいよ地域包括ケアシステム実践の年となりました。本会ではこれまで、重点事業に掲げ、病院から在宅へ一連のケアが切れ目なく提供されるための重要な役割となる「退院支援マネジメントガイドライン」の作成、病院から訪問看護ステーションへの「訪問看護出向事業」、訪問看護師の育成や質の向上のための「訪問看護推進事業」、「医療・介護連携推進人材養成事業」等に取り組んで参りました。看護職能団体として少子超高齢社会に対応できる人材育成・確保をしつつ、誰もが安心して暮らしの場でその人らしい生活・最期を迎えられるような社会を実現するために、看護連盟の方々と協働し、政策提言・実現に向けた活動に尽力致します。本年もよろしくお願いいたします。

看護職議員活動報告



衆議院議員 あべ俊子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
茨城県看護連盟の皆様には日頃より温かい
ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は全国の看護連盟の皆様の多大なるお
力添えのおかげさまで、5期目の国政へ送り
出していただくことができました。本当にありがとうございました。また改選後は、財務金融委員会(理事)、予算委員会、地方創生
に関する特別委員会の委員を拝命するとともに、自民党副幹事長
としてもその任に就かせていただいております。

これからますます本格的となる超高齢社会を支えるためには、
看護職の皆様の大きな力が必要です。その看護職の皆さんお一人
お一人が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から
願うとともに、それを支える立場から、看護がさらに
より良く発展していくためのお役に立てるよう、引き
続き現場の声をお聞かせいた
だきながら全力で取り組
んでまいります。本年もど
うぞよろしくお願いいたし
ます。

参議院文教科学委員長 参議院議員
たかがい恵美子

茨城県看護連盟の皆様におかれましては、ま
すますご清祥のことと存じます。

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げ
ます。

さて昨秋の衆議院総選挙では、一致結束の大勝利を収め、新たな希
望の拡がり共有することができました。看護職はいのちの現場の守
り手として、次代に相応しい社会保障制度体系づくりを牽引する大切な
存在。その一人ひとりの真心に感謝し、看護職の誇りと気概を胸に、こ
れからも果敢に挑戦を続けたいものです。

委員長に指名され、教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関す
る調査にあたることとなり、また党政務調査会においても新たに文部
科学部会副会長を拝命しました。厚生労働部会についても引き続き、
副部会長の任にあたります。働き方改革を始め幅広い厚生労働分野の
諸課題と真摯に向き合い、これからも、
その解決のため堅実に職責を果たして
参ります。

皆様様の温かいお支えに改めて心か
ら感謝を申し上げ、また皆様にとりまし
て健やかな笑顔あふれるよき年となり
ますことを、重ねてご祈念申し上げます。



参議院議員 石田昌宏

茨城県看護連盟のみなさま、あけましておめで
とうございます。平成30年が、すばらしき一年となり
ますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、日本看護連盟の総会において、組織内
候補予定者としてご承認いただきました。看護
を取り巻く課題改善のため、看護職の代表として精一杯力を尽くして
まいります。また、9月には、参議院厚生労働委員会筆頭理事を拝命
いたしました。厚生労働委員会は、運営が最も難しい委員会の一つと
も言われておりますが、他の会派と調整を行う緊張感の高い役割も
務めさせていただくことになりました。鋭意力を尽くしてまいります。

みなさまからお寄せいただく「現場の声」は、私の活動の礎です。国
政で白熱した議論が飛び交う中、説得力のある発言を行うには必要不
可欠です。今年も茨城県をご訪問させていただきますので、ぜひ、お力添
えを賜りますようお願い申し上げます。

看護職のみなさまが「今日も良い
看護ができた!」と実感できるよう、
共に活動してまいりますので、引き続
きよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員 木村弥生

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨秋の衆議院議員選挙では、温かいご支援を
賜り、ありがとうございました。茨城県看護連
盟の皆さまのお力添えあって、再び国会にて、
代議士として活動させていただくこととなり
ました。皆様への感謝の念は尽きません。心より御礼申し上げます。

これからも「誰もがより健康で活躍できる社会」を目指し、看護
の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たすため、現場
の最前線にいただいたご意見やご要望を政策に反映してまいりま
す。

今後は各地域での教育・医療・福祉の連携した体制の構築にも
力を注ぎたいと考えております。

政治家として、光の当たらぬと
ころにあたたかな光を当てていく政治
を忘れずに、女性の視点、母親の視
点、看護の視点を生かし、応援して
いただいている皆様のご期待に添え
るよう全力を尽くしてまいります。

本年もご指導ご鞭撻のほど、どう
ぞよろしくお願い申し上げます。



選挙活動を終えて

水戸第4支部長 尾崎 美智子

まず一昨年のたかがい恵美子議員2期目の当選は大変喜ばしいが、会員数に比べ得票数が伸びなかった事
にショックを覚え上位当選出来なかった悔しさがよみがえる。

今回、衆議院選挙では、阿部俊子議員は無所属で出馬され、岡山3区小選挙区で5期目当選を見事果たされ、
自民党公認を受けられました。木村やよい議員は京都3区で出馬し、2期目の当選をされました。阿部俊子議
員の支援では岡山3区の電話作戦を担当しましたが、留守電を聞いた男性の方から折り返し「応援している
よ、頑張って」と電話があり、日頃から地域の方に寄り添い活動している姿が浮かび目頭が熱くなりました。離れていても心は一
つ、フェイスブックのアップ、電話作戦、そして地元議員の街頭演説など、夏の県知事選同様に執行部、上野支部長はじめ各支部
長、幹事長と連絡を取り遊説に走り回りました。それが代表議員の働きやすい環境づくりに繋がると信じて活動しました。そし
て、次の選挙を見据えて、リーダーから会員に熱伝導で、確実な票取りに繋がる連盟活動を行いたいと思います。



茨城県知事選

告知日：H29年8月10日
選挙日：H29年8月27日

ご挨拶

茨城県知事 大井川 和彦

山本会長をはじめ、茨城県看護連盟の皆様には、県民の命と健康を守るため、日頃から、保健・医療・福祉の第一線でご活躍いただいておりますことに、心から感謝申し上げますとともに、深く敬意を表する次第です。

多くの皆様から力強いご支援をいただき茨城県知事に就任してから、4カ月余りが経過いたしました。

この間、現場に足を運び、さまざまな課題について改めて認識を深めますとともに、私自ら多くの職員と議論を進め、昨年末には、今後取り組むべき政策のビジョンを取りまとめました。

このビジョンでは、県民の皆様が「豊かさ」を享受し、「安心安全」な生活環境のもと、未来を担う「人財」が育まれ、夢・希望に溢れる茨城を実現するため、新たな発想で、果敢に挑戦していくこととしております。

引き続き、新年度に向けた予算編成を着実に進め、県民の皆様とともに、未来に向けた大きな一歩を踏み出していきたいと考えております。

皆様方におかれましては、今後とも「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

茨城県看護連盟の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたしまして、挨拶といたします。



茨城県看護連盟青年部委員会

誕生



茨城県看護連盟青年部委員会の結成について

第一副会長 吉田 寿和

日頃より、看護連盟活動に御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

茨城県看護連盟会員数は平成29年度現在5,077名であり、その大半が20歳から40歳までの若手会員3,970名で、全体の74.7%を含めております。このたび若手看護職が、医療政策や政治に興味や関心を持ち、看護職の政策提言を学び、連盟活動の活性化と将来を担える人材の育成と良質の医療の実現を目的に青年部委員会を発足しました。青年部は、県内の各施設から選ばれた20歳から45歳の20名の看護師を中心とした委員で構成されています。若手会員が看護と政治について理解を深められるような活動をしていきます。会員皆様の御協力をお願いします。



青年部委員長あいさつ

東京医科大学茨城医療センター 池田康幸

今年度より茨城県看護連盟青年部委員会が立ち上がり、青年部委員長を務めさせていただくことになりました池田康幸です。

青年部委員会は、各支部より19名の委員が選出3グループ化され9月から活動を開始しました。現在は次年度に向けた活動についての委員のメンバーと話し合いを行っています。特に研修会は「自分たちも楽しく学び、知識を深めていく」を目標にし、若い看護師のみなさんに、どうすれば連盟の活動や政治に興味を持ってもらえるかを考えながら、研修会の企画や運営をメンバーと共に進めています。

立ち上がったばかりの青年部委員会のため、試行錯誤の中ですが若手会員の皆様の協力を得ながら頑張っていこうと思います。よろしくお願い致します。

青年部委員会 委員紹介

若者の声を政治に!!



東京医科大学茨城医療センター
県南第1支部
委員長 池田 康幸



県北医療センター高萩協同病院
県北第2支部
副委員長 武子 裕介



県西総合病院
県西支部
副委員長 安達 有紀子



水戸赤十字病院
水戸第1支部
横須賀 淳子



水戸済生会総合病院
水戸第2支部
野澤 健大



水戸協同病院
水戸第3支部
勝又 春菜



水戸中央病院
水戸第4支部
中島 邦夫



協和中央病院
県西支部
上野 史裕



結城病院
結城支部
松嶋 久美



茨城西南医療センター病院
古河支部
館野 智哉



友愛記念病院
古河支部
内田 香津葉



JAとりで総合医療センター
県南第2支部
佐野 広和



会田記念リハビリテーション病院
県南第3支部
新谷 亜季



土浦協同病院
土浦支部
鈴木 淳



筑波記念病院
つくば支部
大関 正人



小山記念病院
鹿嶋第1支部
江野澤 志鶴



白十字総合病院
鹿嶋第2支部
木内 悠紀也



土浦協同病院なめがた地域医療センター
鹿嶋第3支部
越山 義剛



アイビークリニック
県北第1支部
大内 美幸



ひたち医療センター
県北第2支部
鈴木 めぐみ

平成29年度研修会報告

会員研修会

平成29年7月29日(土)

演題:「現場に生かす認知症の対応」

講師: お多福もの忘れクリニック 管理医師

本間 昭 先生



筑波記念病院
小松崎 健一

私は現在、回復期リハビリテーション病棟に勤務させていただいています。最近では認知症を患い、骨折をして入院される高齢の患者さんが増えています。それに伴い、回復期リハビリテーション病棟でも急性期から自宅に退院することが困難な認知症を患っている高齢の患者さんがとても増えています。そして、その患者さんの中にはBPSDがみられる患者さんが多くいらっしゃいます。

今回私は、この研修を通して、認知症によって生じる中核症状から引き起こされる周辺症状BPSDのことについて、より理解を深めることができました。当病棟の患者さんにも興奮、暴言や不眠、不安等の症状がみられます。認知症の患者さんは、その症状について指摘されたり、責められる事で症状が悪化することがあるという事を実感しています。

日々の関わりの中で、個々の患者さんの世界観や心理を受けとめ、その患者さんにあった環境を調整することで、患者さんの自宅退院をより現実的なものにする事ができるのではないかと研修を通し強く感じました。

今回の研修で学ばせていただいたことを今後の臨床に活かし実践していきたいと思っています。

新入会員研修会

平成29年9月28日(木)

演題:「新人看護師のストレスマネジメント」

講師: 東京女子医科大学八千代医療センター

山内 典子 先生



総合病院水戸協同病院
佐藤 奈奈

ICUに配属され半年が経過しました。重症の患者様を受け持つ事で、専門職としての責任の重さを実感することが増え、心身への負荷を感じることも多くなりました。今回、エゴグラムを用いて性格傾向を知ること、自分が影響を受けやすいストレス要因や、自分に合ったコーピングスタイルを知る機会となりました。講話の中でストレスは「跳ね返す」「逃がす」「抜く」といった対処方法を上手く使い分けることで、心身への負荷ではなく原動力へとつなぐことができるとありました。これまでの半年間を振り返ると、ストレスコーピングが確立しておらず原動力へ活かされた機会は少なかったのではないかと思います。日々、命と向き合う現場で働いていく中で、幾度と多大なストレスに向き合うことが予想されます。その際はストレスを意識的にコントロールしていくことに努め、生き生きと働く看護師を目指していきたいと思っています。

若手会員研修会

平成29年11月14日(土)

演題:「看護っておもしろい」

講師: 徳島文理大学大学院看護学研究科 教授

ナイチンゲール看護研究所 金井 一薫 先生



県西総合病院 仲田 春香

私はこの研修会に参加して金井一薫先生が「あなたの看護観をもちなさい。自分が看護に対する大事にしている考えがなくてはだめ。自分の看護に対して患者にその考えが届いた時、看護が楽しいと思える」とおっしゃっていた事が一番印象に残っています。私は看護師として就職し3年が経過しようとしています。3年の中で様々な患者と出会いました。特に印象に残っているのがケアに対し拒否的だった患者が長期的な関わりにより「仲田さんに出会えてよかった。俺も頑張る」と前向きな言動が聞かれ笑顔が見られた時でした。

業務をこなす事に精一杯になっていましたが、私は常に病気による患者に寄り添い自立できるように支える事。笑顔を忘れない事。を大切に日々努力してきました。

今回この研修に参加し、さらに自分の看護観を振り返る良い機会となりました。今後私も、「看護っておもしろい」と自信を持って言えるように頑張っていきたいと思っています。

施設紹介

龍ヶ崎済生会病院

看護部長 本間 満子

当院は龍ヶ崎市の地域中核病院として16年目、一般病床206床、ICU4床を有す急性期病院です。入院基本料7:1を取得して、平均在院日数12日と回転が速く、一言でいえば忙しい病院でもあります。県内3校から看護学生、助産学生など実習生を受け入れており、又、近隣の中学生の職場体験、高校生の1日看護体験など毎年開催しております。地域中核病院として役割を果たすために日々の看護実践から後輩の育成など共に成長し合いながら活動し、人材育成に関しては院内外の研修を受講しキャリア開発につなげております。今年度も新たに新1年生が13名加わり、教育指導や支援を受けながら頑張っています。臨床の場への適応は個人差も大きですが、1年生も互いに励ましあいながら乗り切っています。当院では1年生には年2回ほどリフレッシュ研修を導入しています。今年は5月に筑波山登山、8月は森林公園でのバーベキューと同期の「絆を深め」「お互いに頑張ろう」と支え合っております。写真は筑波山登山とバーベキューを楽しんでいる1年生と支援している教育委員のメンバです。日頃のストレスから解放された皆さんの表情を紹介いたします。



わたしたちの支部



県南第3支部 支部長
草間 由起子

県南支部は3支部から構成されています。私たちの第3支部は、総合守谷第一病院、佐瀬トータルケアセンター、会田記念リハビリテーション病院、ひかり訪問看護ステーションの4施設、会員数145名(平成29年度)の会員に支えられています。

支部内の施設同士、連携を強化しお互いの活動状況を把握し、会員に働きかけたいと思っています。又、看護連盟からの情報を共有し、提供していきたいと考えています。さらに県南支部の3支部で協力し研修会を開催しようと考えています。

これからも看護職が働き続けられ、働いている職員が元気に活躍できる労働環境の改善のため看護の代表を国政に送る使命があることを会員に理解してもらおうと共にひとりでも仲間を増やしていけるよう活動して参ります。



土浦支部 支部長 大野 美津江

土浦支部は、看護連盟会員数が829名(土浦協同病院805名)であり、茨城県で一番会員数の多い支部です。土浦協同病院が主な活動の場で、支部長、幹事

長、幹事、リーダー 29名、計32名で活動しています。会員数の多い支部だからこそ、リーダーの理解と協力が不可欠です。そのため、定期的にリーダー会議を開催し、看護連盟について理解を深めるとともに、看護連盟から発信される情報を共有できるように努めています。

また、8月7日に茨城県看護連盟との共催により、参議院議員のたかがい恵美子議員をお迎えし「看護の現場を語る会」を県役員、支部長、院内外の連盟会員26名の参加を得て開催しました。看護の代表のたかがい議員と、ひざを突き合わせる距離で看護について語り合い、まさに「ベッドサイドから政治を変える」を体感する有意義な時間となりました。



癒しのコーナー



医療法人美湖会美浦中央病院
篠崎 佑太

私の癒しの時間

私は現在、看護師5年目になります。

病院で働いていると、しばしば先輩からの指導をいただいたり、後輩から質問がきたりと考えることが多くあります。また、患者対応ひとつひとつも技術のエビデンスを十分把握し、この患者様にはどんな看護が必要か、どのように看護をすればよいかなどと考えていると、頭が混乱してくることも多々あります。

そのような日々が続いているとき、私は川釣りに行きます。一人でボーッと垂らした釣り糸を見つめていると、ふと仕事であった出来事を思い出します。すると、業務で忙しいときには思いつかなかった考えや、理解しきれなかったことも頭の中でまとまった考えになることがあります。そして、「やる気が出て仕事をして」、「混乱して釣りに行って考えがまとまって、またやる気が出る」その繰り返しで、現在もやりがいを持って仕事に打ち込んでいます。



ただいま育メン中

県北医療センター高萩協同病院
武子 裕介

私は現在、整形外科と内科の混合病棟で働いています。職場の理解と妻のタイミングが良かった為、無事娘の出産に立ち会う事が出来ました。立会いでは夜勤明けという事もあり、たいした役には立たなかった気がしています(笑)。

混合病棟となり多忙になった事で、娘と会う時間が少なく夜遅く帰宅する事もある為、寝顔しか見られない時もあります。その為、妻にも子育てを中心に大変な思いをさせていると感じています。夜が無理でも翌朝に娘の笑顔が見られる事で私のビタミンとなり、働く意欲が湧いてきます。

今はハイハイやつかまり立ちで目が離せなく大変ですが、日々の成長が楽しいです。育メン中のナースマンのみなさん、一緒に頑張りましょう。



連盟からのお知らせ

H30 / 2 / 17 (土) 会員及び賛助会員研修会

演題:「健やか寄席」～ちょっと笑っていきませんか～
 講師:古今亭 文菊師匠 ・ 神田 山緑講談師
 時間:13:30～16:00
 会場:フェリヴェールサンシャイン

H30 / 3 / 10 (土) 看護管理ワークショップ②

演題:「診療報酬制度改定と今後の看護対策」
 講師:参議院議員 石田まさひろ先生
 時間:13:30～16:30
 会場:フェリヴェールサンシャイン

日本看護連盟公認キャラクター



レンコ

カンタ

平成30年度 茨城県看護連盟会員 入会受付中

皆さまのご入会をお待ちしております。

- 正会員** 年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
 ・看護協会会員であること。
- 特別会員** 年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
 ・正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方。
- 賛助会員** 年会費 1,000 円
 ・看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できます。
- 学生会員** 年会費 無料
 ・看護学生で、看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方。

お問合せ

茨城県看護連盟ホームページもご覧下さい。
<http://www8.plala.or.jp/i-renmei/>

〒310-0034
 茨城県水戸市緑町3-5-35
 TEL: 029-225-3992
 FAX: 029-232-8648
 E-mail: i-renmei@indigo.plala.or.jp

東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内

良質な睡眠は、健康で充実した
 毎日を過ごす基本です！

◆こんなお悩みはありませんか？ → ◆睡眠セミナーを無料で開催しています

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーを開催し、職場の問題解決のお手伝いをさせていただいております。

*研修内容及び研修時間をご相談に応じさせていただきます。

TUK 東洋羽毛北関東販売株式会社

〒310-0842 茨城県水戸市けやき台 2-19-2 www.toyoumo.co.jp

茨城営業所 **0120-461590**

セミナーに関するご相談はお気軽にご連絡ください！

編集後記



新年、あけましておめでとうございます。
 広報委員長となり、ちょうど一年が経過しました。今年も茨城県看護連盟の情報提供や活動をできるだけわかりやすく発信してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。(菊池美恵子)

